

# 当社の事業内容と 成長戦略について



---

SBIインシュアランスグループ株式会社  
[7326] 東証グロース

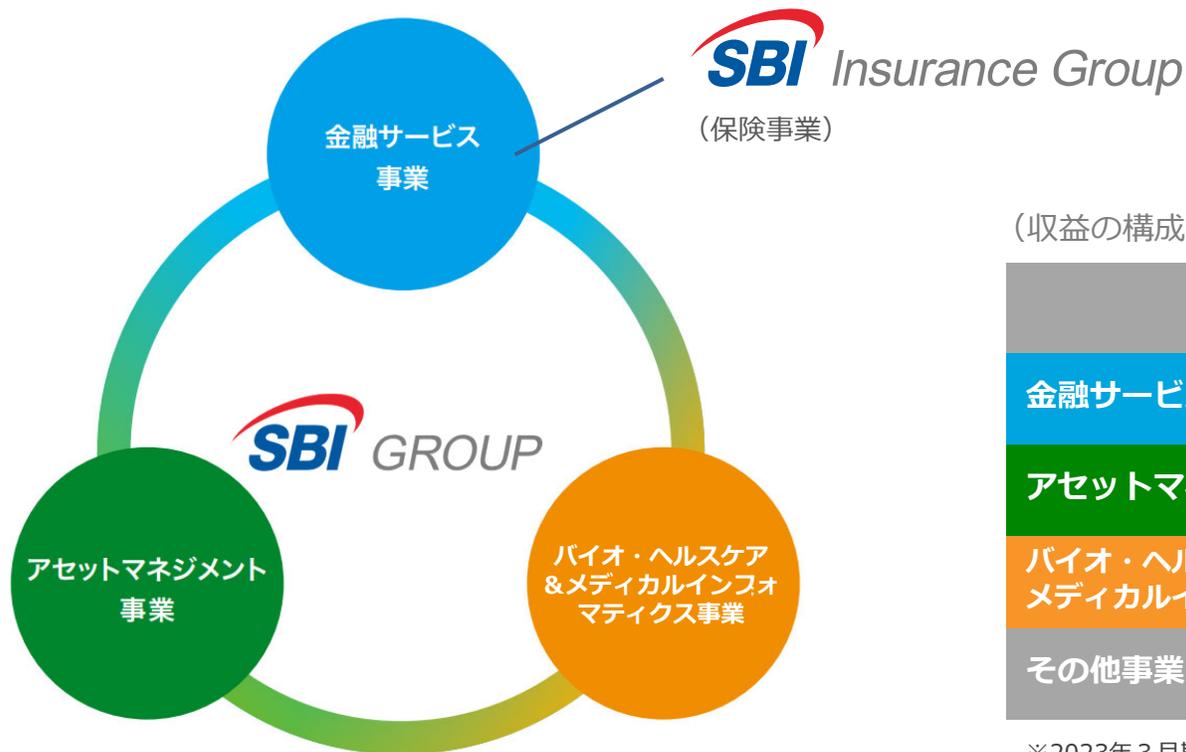
2022年7月 会社説明資料



当社は、SBIグループ（当社親会社の企業グループ）の保険事業を統括する保険持株会社。

当社は、SBIグループの非常に大きな顧客基盤を有効活用して効率的な保険販売を実践

< SBIグループの事業領域（2022年3月期） >



(収益の構成 (IFRS) )

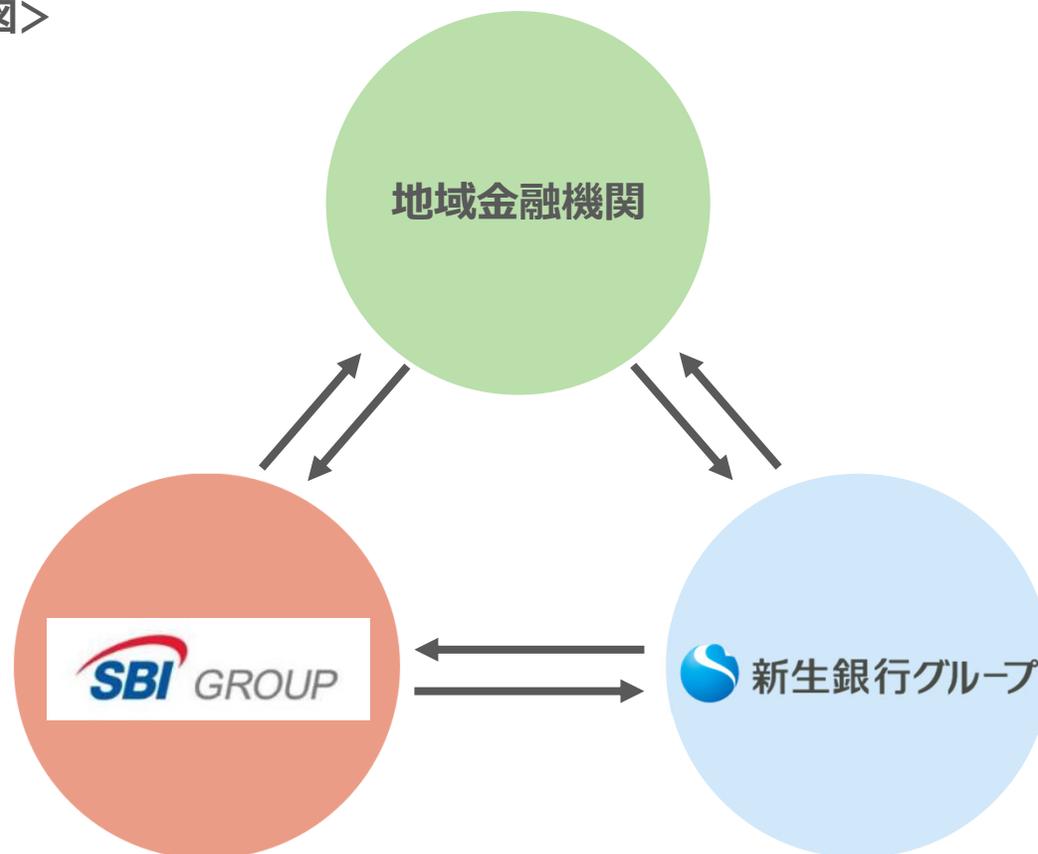
セグメント	収益
金融サービス事業	3,961億円
アセットマネジメント事業	3,178億円
バイオ・ヘルスケア & メディカルインフォマティクス事業	99億円
その他事業	442億円

※2023年3月期より事業セグメントの変更を実施します。



SBIグループ（当社親会社の企業グループ）は、**地域金融機関とのアライアンスを拡大**。昨年より**新生銀行グループ**がSBIグループに加入し、**三位一体で地域社会の課題解決**を目指しています。

<イメージ図>



# グループ体制図

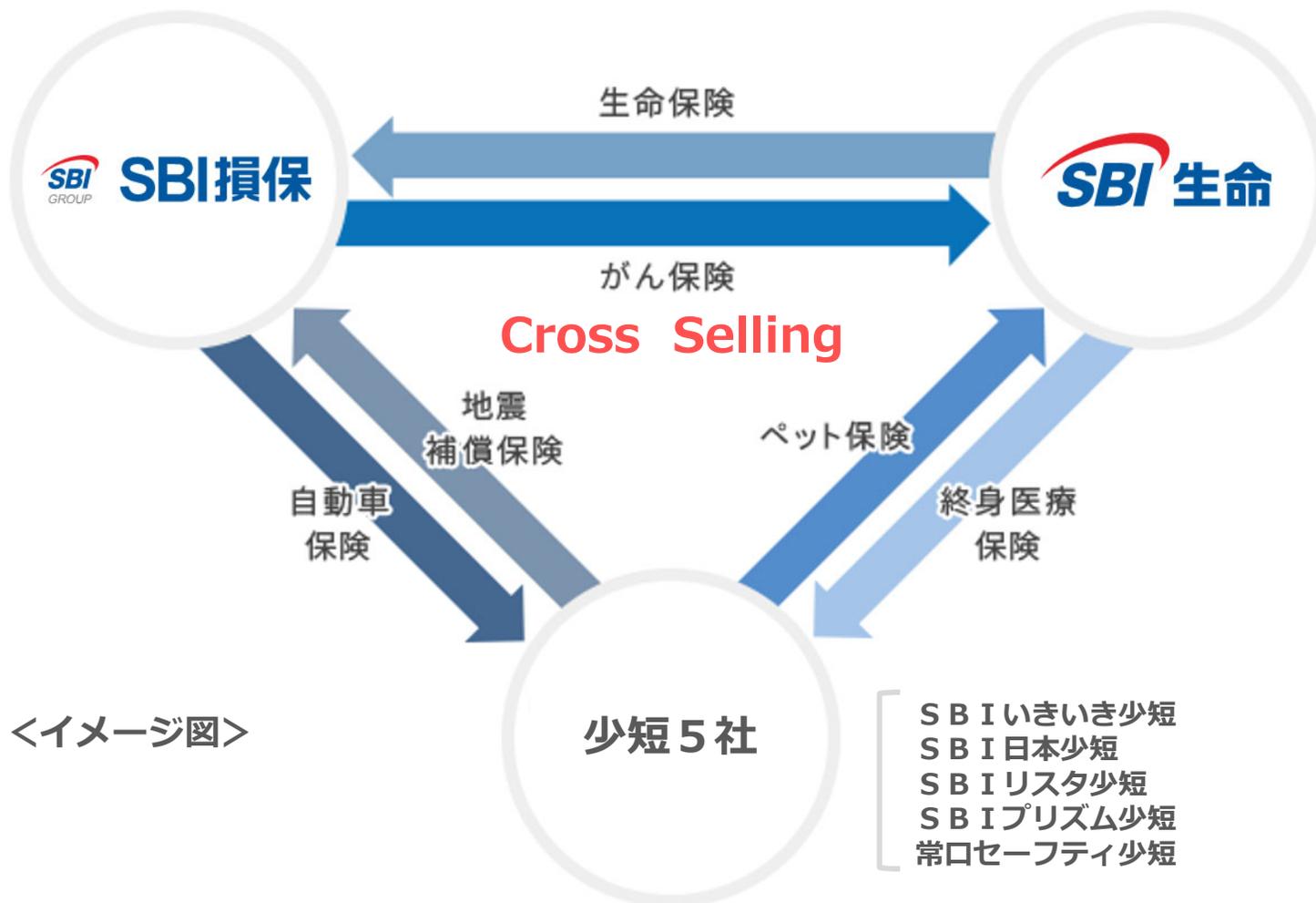
## ～ 総合的な保険事業を展開 ～



◆ 保険持株会社である当社の経営管理の下、  
8つの子会社が、損害保険事業、生命保険事業、  
少額短期保険事業の3事業を運営。



当社グループ内でも顧客基盤を共有。  
それぞれの会社のユニークな保険商品を  
クロスセルで提供し合うことで、  
充実した商品ラインナップを実現



<イメージ図>



当社の強みである**非対面チャネル**を軸に  
対面チャネルも展開することで、**広範な  
事業領域をカバー**

事業セグメント

損害保険



生命保険



少額短期保険



主な収益構造



重要概念

規模の拡大

①顧客満足度  
B to C(Customer)

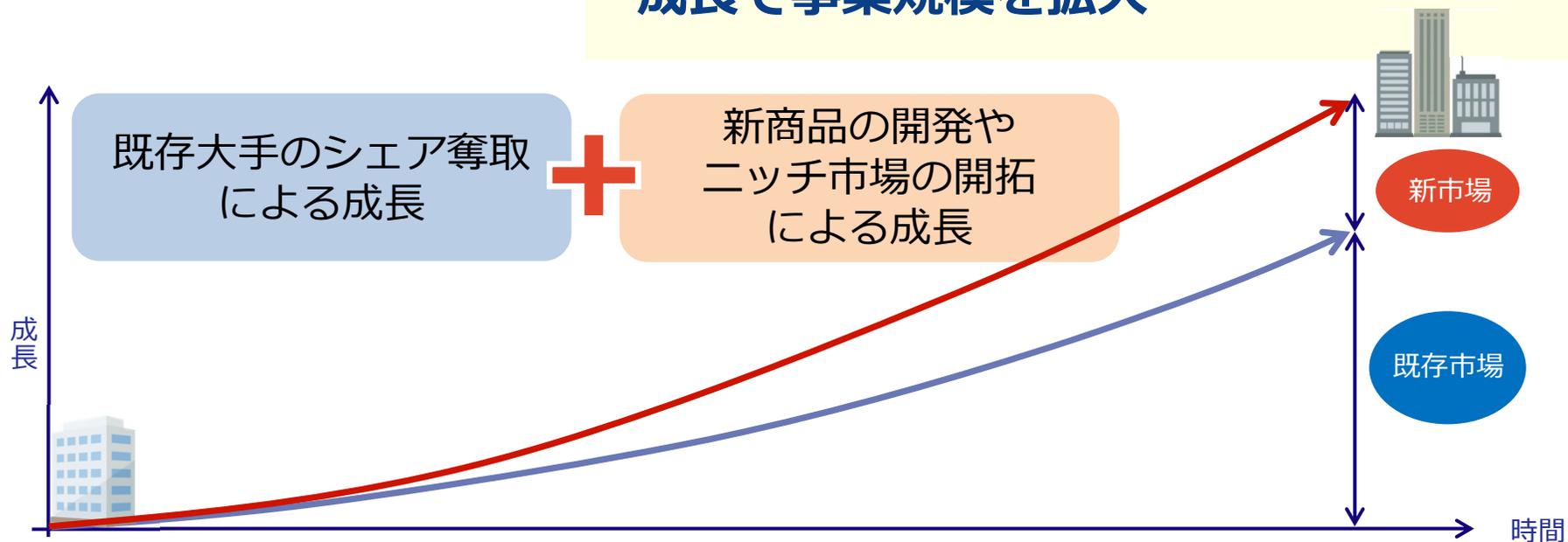
②代理店満足度  
B to A(Agency) to C

効率性の追求

③従業員満足度  
B to E(Employee)



既存大手のシェア奪取による成長に加え、  
新商品の開発やニッチ市場の開拓による  
成長で事業規模を拡大



中核戦略

シナジー

グループシナジーの深耕

- ・SBIグループ顧客基盤への販売推進
- ・地域金融機関との協業による地方創生
- ・外部企業とのオープン・アライアンス戦略

テクノロジー

テクノロジーの積極活用

- ・先進技術による新たなCXの創出
- ・AI、ビッグデータを活用したマーケティング
- ・RPA等による事務作業効率化

ニッチ

ニッチ市場の継続的開拓

- ・少短保険を軸とした新分野への進出
- ・M&A、業務提携等による新事業構築

強みを活かして「連続的な成長」を目指す取組み

「非連続的な成長」の取り込み

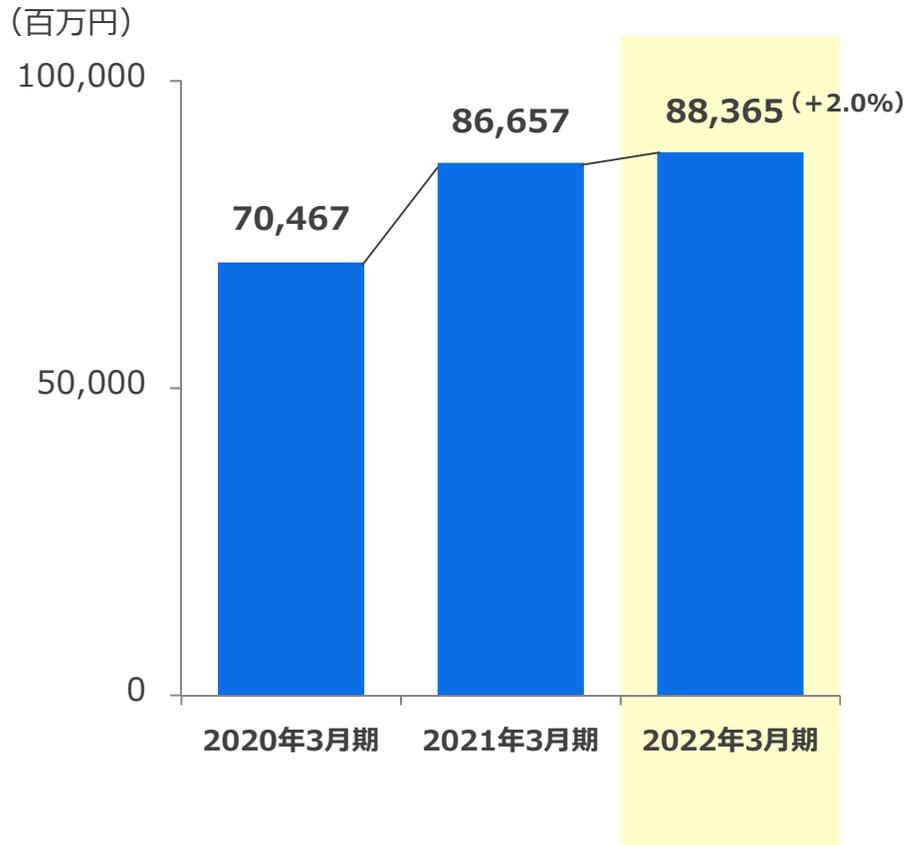
## 2022年3月期 連結業績

(単位：百万円)

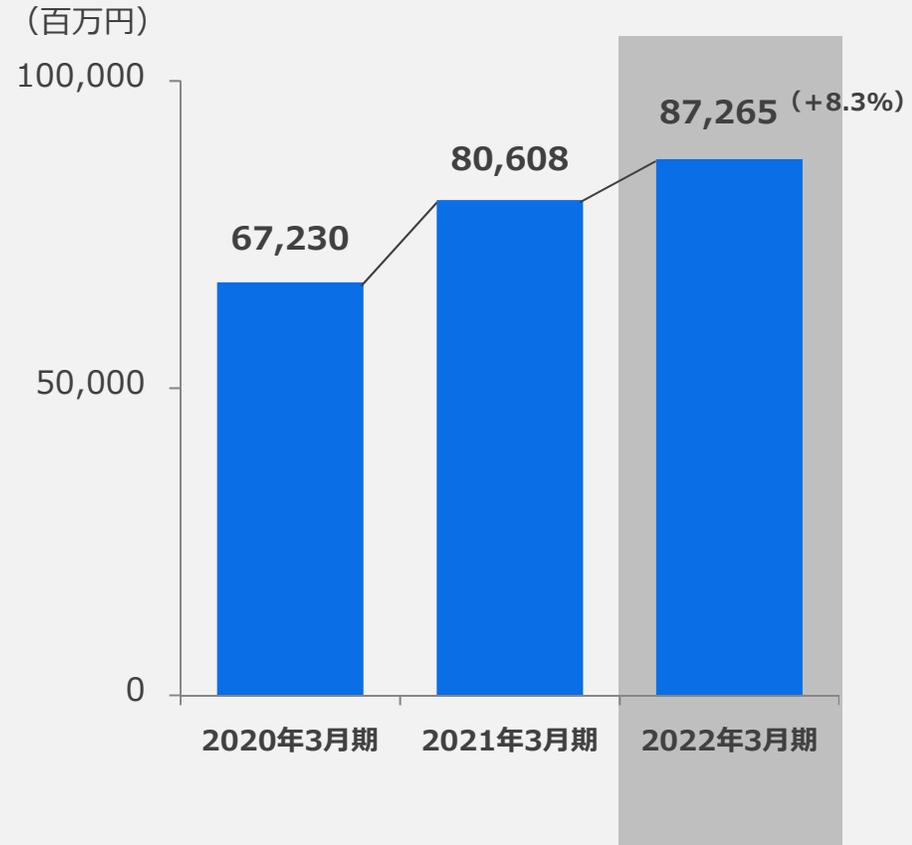
	2021年3月期 (2020年4月～2021年3月)	2022年3月期 (2021年4月～2022年3月)	対前期 増減率
経常収益	86,657	過去最高 88,365	2.0%
経常利益	3,852	過去最高 5,925	53.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	763	過去最高 891	16.8%

- ◆ すべての事業で保有契約件数が堅調に増加したことなどにより増収増益。  
経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の3項目すべてが過去最高金額を更新
- ◆ 経常収益は 2.0%の増加（会社の利益には影響を与えない「特別勘定」に係る収益を除いて前期と比較すると 8.3%の増加、次ページで詳述）、経常利益は 53.8%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は 16.8%の増加

## 経常収益



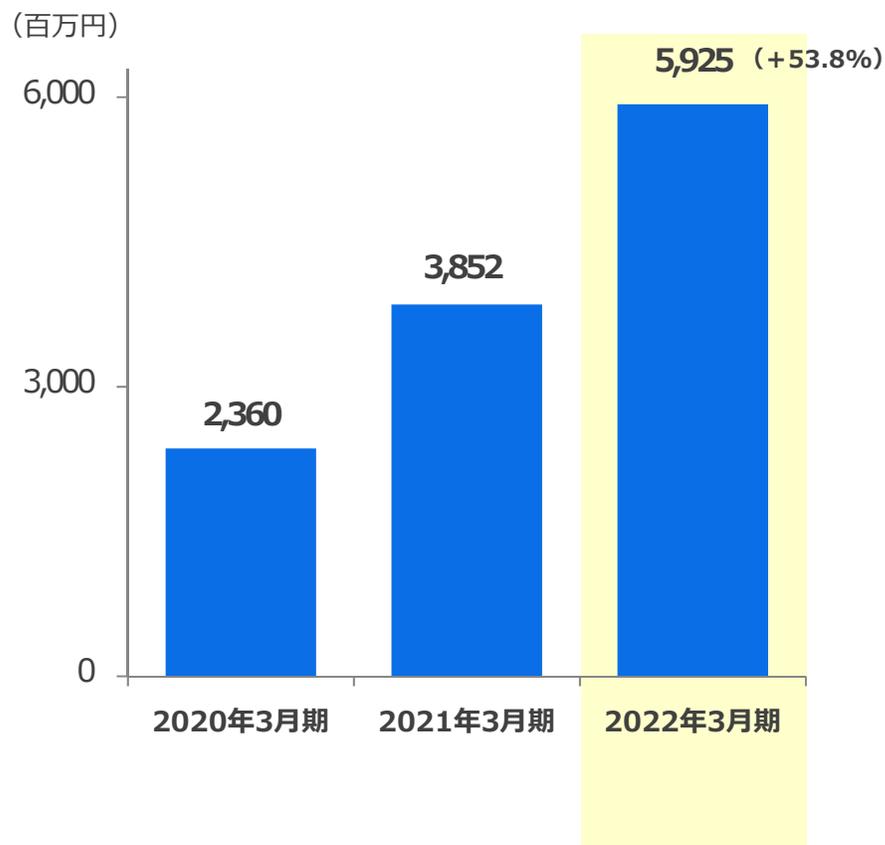
## ＜参考＞「特別勘定」に係る収益を除いた経常収益



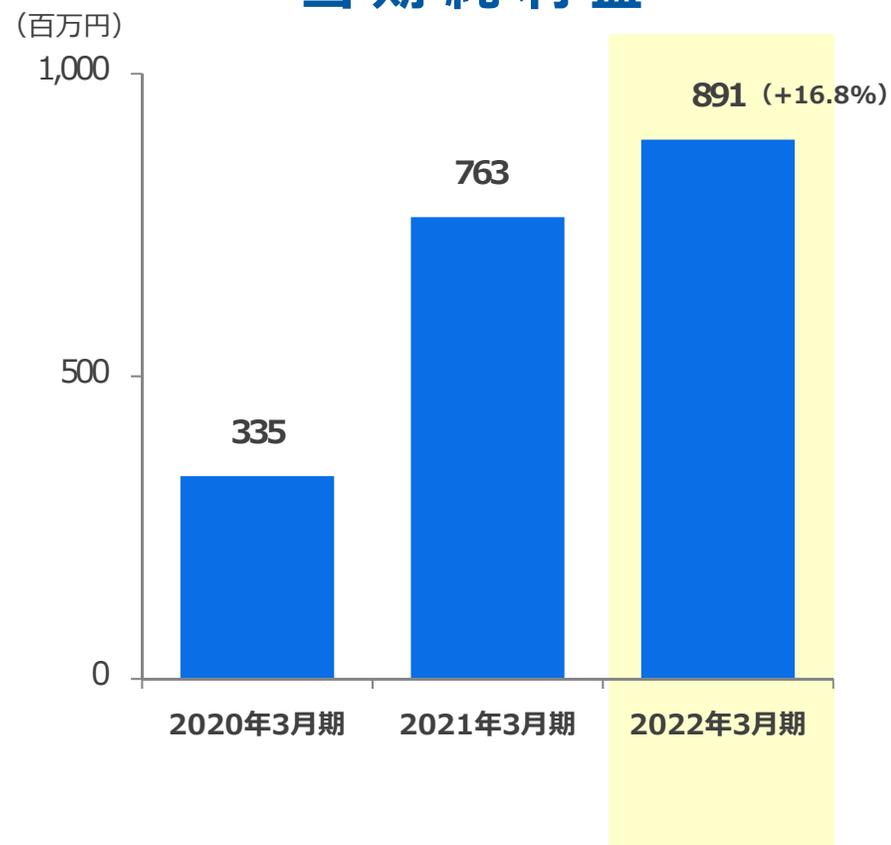
- ◆ 経常収益は、会社の利益には影響を与えない「特別勘定」※に係る収益を含んでおり、前期は特にその金額が大きいため、当期の増加率は2.0%に留まる。「特別勘定」に係る収益を除いて経常収益を比較すると前期比8.3%の増加（右グラフ）

※変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

## 経常利益



## 親会社株主に 帰属する 当期純利益



- ◆ 経常利益は、前期比 53.8% の増加
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産等処分損などの特別損失※が増加したものの、前期比 16.8% の増加

※2022年3月期には、損害保険事業における一部業務システムの入れ替えに伴う固定資産等処分損などを特別損失として計上しています。

## 2023年3月期 連結業績予想

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円、%)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期	
			(予想)	増減率
経常収益	86,657	88,365	93,500	5.8%
経常利益	3,852	5,925	6,000	1.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	763	891	950	6.5%

- ◆ 2023年3月期の連結業績は、保険金支払いの増加が見込まれるものの、すべての事業における保有契約件数の堅調な増加を見込んでおり、引き続き成長基調を維持していく見通しです。

<https://www.sbiig.co.jp>



---

SBIインシュアランスグループ株式会社  
[7326] 東証グロース

2022年7月 会社説明資料